



開催セミナー	2016年度 新任教員研修会
日時	第1回 2016年4月27日(水) 13:00～15:00 第2回 2016年6月22日(水) 12:30～14:35
場所	第1回 12402教室 第2回 サギタリウス館1階 S102会議室
参加者	本学教職員(第1回35名、第2回20名)
内容	<p>教育支援研究開発センターでは、新任教員が本学の教育や学生の特徴を理解し、他の教員との対話から気づきを得て今後の授業・教育活動に活かすことを目的として、春学期に2回の新任教員研修会を実施しました。</p> <p>第1回研修会は、本学の教育の特色や質保証への取り組みを紹介し、授業の運営方法に関する疑問について、新任教員と先輩教員がアイデアの共有や意見交換を行いました。</p> <p>第2回研修会は、春学期第6週目までに実施された「教員-学生間の授業に関する対話シート」を題材に、学生へのフィードバック方法等について、事例紹介や意見交換を行いました。</p> <p>研修会終了後、学内の施設見学を実施し、本学の学生の主体的な学びを支えるF工房やラーニングコモンズ、グローバルコモンズ等の施設を紹介しました。</p>

#### 参加した教員の声より

「他の教員方の生の声がかけてよかった」などの感想のほか、「講義中の注意の仕方や、ルールを再考しようと思う」や、「対話シートの結果をフィードバックしている姿勢を学生に見せることが大事と伺い、はっとさせられた」など、授業運営や学生との向き合い方について気づくコメントが、両研修会を通じて本センターに数多く寄せられました。

開催セミナー	事務職員対象「英語教室」(初級・中級)
日時	初級編 2016年5月11日(水)～6月8日(水) 17:00～18:30 中級編 2016年6月15日(水)～7月13日(水) 17:00～18:30 ※上記期間中、毎週水曜日に開催
場所	サギタリウス館5階 S501教室
参加者	本学事務職員(初級10名、中級13名)
内容	<p>本学事務体制のグローバル化を目指した職員の英語力向上の一環として、ニュージーランドからの交換留学生であるハナ・クライネンさんを講師に招き、事務職員を対象とした英語教室が実施されました。</p> <p>英語の習得レベルによって参加者が自由にクラスを選べるよう、初級・中級の2クラスを設けて募集を行ったところ、各部署から職位・世代を問わず様々なメンバーからの応募がありました。</p> <p>授業は全て英語で、初級は文法の基礎を中心に、中級は長文読解やリスニングも取り入れ、少人数クラスで実施されました。</p> <p>授業中、終始活発にコミュニケーションがとられ、参加者はネイティブ・スピーカーの生の英語にふれながら、ワークシートによる個人作業やペアワークなど、様々なワークを通じて英語学習に励みました。</p>

#### 参加した職員の声より

「英語の基本から学びはじめ、無理なく授業内容を理解することができた」、「ネイティブ講師による生の英語での授業を受けることができたのが良かった」のほか、「楽しみながら英語を勉強することができた」や、「講師も含め、全員が真剣に授業に臨み、とても良い雰囲気であった」など、意欲的な感想が寄せられ、参加者にとって大変貴重な学習機会や経験となりました。

### グローバルコモンズに海外からインターン生がやって来た!

春学期、交換留学生のハナ・クライネンさんが毎週月曜の午後、グローバルコモンズでインターン生として活躍しました。

Hello, I am Hannah Krijnen from Ara Institute of Technology, Christchurch, New Zealand. For the past 3 months I had the wonderful experience of being a part-time intern at the Global Commons, here at Kyoto Sangyo University. I ran various activities around the Global Commons, including speaking practices in English, tours of the facilities and gave exchange students the chance to teach others about their home countries and culture. I got the opportunity to help others learn about other cultures and languages and I learnt a lot too. I had such an amazing time working in a bilingual environment and meeting so many of the talented students and friendly staff from Kyoto Sangyo University. It was an experience I will never forget.



CERADES News Vol.8 2016年8月発行

編集 / 発行 京都産業大学教育支援研究開発センター

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 Tel : (075)705-1729

mail : kyoiku-shien-center@star.kyoto-su.ac.jp URL : <http://www.kyoto-su.ac.jp/about/cerades/index.html>

# CERADES News

京都産業大学 教育支援研究開発センターニュース

むすんで、うみだす。  
京都産業大学  
KYOTO SANGYO UNIVERSITY

～学生の主体的な学びを支える「CERADES」の取り組み～

教育支援研究開発センター

Aug. 2016  
Vol. 8



サギタリウス館 グローバルコモンズ

### 対話から生まれる学びの場

副学長・教育支援研究開発センター長  
大和 隆介

大学で「学ぶ」4年間。それは「どのように社会・世界とかかわり、よりよい人生を送るか」について、自分なりの方向性を定める時期ではないでしょうか。「真面目だけど人任せ」な日々と「ハチャメチャだけど積極的に」活動する日々。後者の方がずっと楽しそうですし多くのことが学べそうです。

本センターは、神山キャンパスがそんな「学びの場」となるように多様な「対話」の機会を提供しています。「学生と学生」「学生と教職員」「教職員と教職員」、そして「自分自身との対話」。ひとりひとりが多様な対話を積み重ね、自らの成長を実感できるように、スタッフ全員が協力して活動しています。引き続きよろしくお祈りします。



### Contents

- p2 学生の主体的な学びを支える
- p3 教育支援研究開発センターの取り組み

- ・ F 工房
- ・ ラーニングコモンズ
- ・ グローバルコモンズ

- p4 FD/SD 活動の推進 —大学のさらなる進化に向けて—

- ・ 2016年度 新任教員研修会
- ・ 事務職員対象「英語教室」(初級・中級)

グローバルコモンズに  
海外からインターン生がやって来た!

CERADES News は、京都産業大学の特色ある教育・学習の実践事例を紹介することを目的とし、セラデススタッフが企画・取材・デザイン制作している刊行物です。

CERADES (セラデス) は、教育支援研究開発センターの英語名称 Center for Research and Development for Educational Support の略称です。

# 学生の主体的な学びを支える 教育支援研究開発センターの取り組み

京都産業大学の教育支援研究開発センターでは、これまで紹介してきた「対話」を重視したFD活動とともに、「学生の主体的な学び」の実現に向けた取り組みを、学内の3つの拠点（F工房、ラーニングcommons、グローバルcommons）で展開しています。

F工房では、受講生の主体的な学びを促すクラス運営の改善に、教員・学生と共に取り組んでいます。またラーニングcommonsとグローバルcommonsでは、それぞれのcommonsの特徴を活かして、学生の授業外学習のサポートを行い、学生のニーズに沿った学習支援プログラムを提供しています。

今号は、このような各拠点の役割や機能についてご紹介します。

## F工房 1号館 1階

キーワード：学生ファシリテータ、授業設計の支援、教員と学生をむすぶ

F工房は、学生の主体的な学びを促す授業づくりに、教員と学生が共に取り組む拠点です。「授業でもっと学生の主体性を高めたい」といった授業設計に関する先生方の相談にお応えするほか、アクティブラーニングを導入して授業を運営されている学内の事例やノウハウを「アクティブラーニング・パッケージ」の冊子にまとめ、紹介と普及に努めています。

また、授業を支援する学生ボランティア「学生ファシリテータ（学ファシ）」の募集や養成、コーディネートを行っています。学ファシは、初年次向けキャリア形成支援教育科目「自己発見と大学生活」や学部の入学前後オリエンテーションなど、様々な授業やプログラムに先輩学生として参画し、受講生の主体的な学びを支援する役割を担っています。

○F工房の「F」は、人と人との協働を促す心構えと技術を意味する「ファシリテーション」からきています。

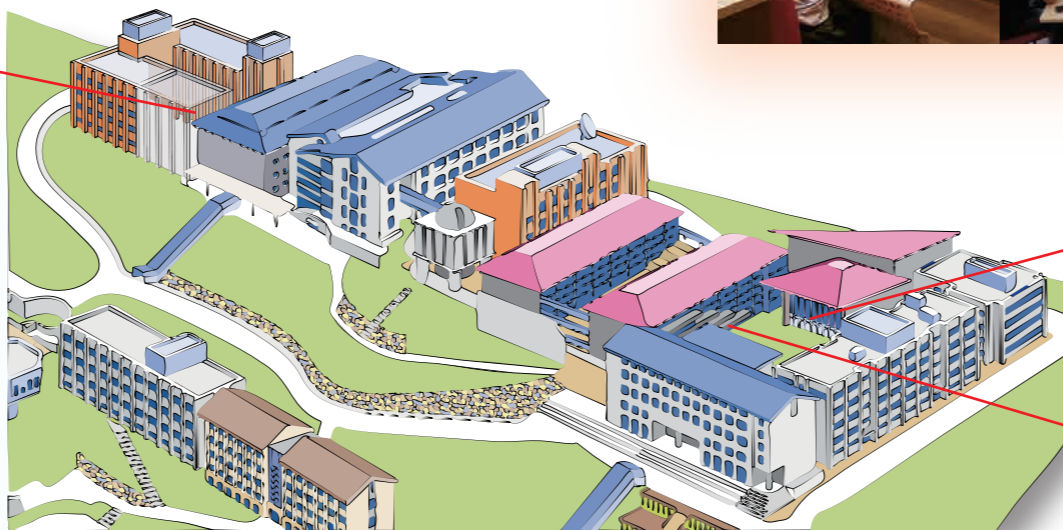
### ■主な活動内容

- ・授業設計に関するコンサルティング
- ・ファシリテーションに関する研修会および講座の実施
- ・学生ファシリテータの養成
- ・授業運営の事例集約および発信（冊子の発行）



### 利用者の声

新入生たちは4月の教室で「誰かに話しかけたいけれど、どうしたらいいかわからない」と戸惑っている様子でした。しかし学ファシさんによるアイスブレイクで緊張が解かれ、授業終了後には連絡先を教えあったり、他の科目の情報交換をしたりと、嬉しそうに盛り上がっていました。教員や専門スタッフが運営する方がソツなくスムーズですが、新入生にとっては先輩の指導の方が心に響くようです。「先輩みたいになりたい」といったコメントも複数寄せられました。アイスブレイクによって授業の雰囲気が格段に良くなり、ペアワークもスムーズに進むようになりました。（共通教育語学担当教員 / 語学授業の初回に学ファシ派遣を依頼）



雄飛館ラーニングcommonsは、グループワークやディスカッションなど学生同士が学び合うことができる学習空間です。

ノートPCやタブレット端末、プロジェクタなど多様なICT機器が配置され、その時の利用目的に応じて、スペースを自由に選択することが可能で、学生が学部・学年の枠を越え、グループになって授業時間外に利用する姿が日常的に見られます。

また、常駐するラーニングcommons学生スタッフ(LCS)は利用案内やイベント実施を通じて、専門スタッフはライティングやプレゼンテーションに関する個別学習相談・ワークショップを通じて、学生の授業外学習をサポートしています。



### 学生スタッフ(LCS)による利用者インタビュー

ラーニングcommonsは話し合うことが前提の空間なので、話し合いが白熱しても良い雰囲気なところがいいですね。図書館とはまた違う使い方ができます。(経営学部3年次 / ゼミの授業外活動に利用)

## ラーニングcommons 雄飛館 2・3階

キーワード：授業外学習、学生主体の運営、グループワーク

## グローバルcommons サギタリウス館 1階

キーワード：授業外学習、外国語学習、異文化理解

2016年4月にオープンしたグローバルcommonsは、語学力および異文化理解、留学へのモチベーションを高める、学生のための授業外学習スペースです。学生は、多読本やDVDを利用するほか、定期的で開催される英語ワークショップ、チャットタイムに自主的に参加し、英語でコミュニケーションを取る楽しさを体験しています。また、何気なく館内に立ち寄った学生も、英語によるアナウンスや日英併記の掲示物から、気軽に外国語や異文化に触れることができます。専門スタッフによる英語の個別学習支援も行っており、学生のニーズに応じた学習をサポートしています。

### <Workshop 例>

- ◆ Starting Conversations
- ◆ Starting Presentations
- ◆ English Writing
- ◆ English Speech A to Z

### <Activity 例>

- ◆ Country Presentations
- ◆ English Speaking Practice (chat)

### 英語ワークショップ参加者の声

- ★間違えても積極的に話そうと思えました。(外国語学部・ヨーロッパ言語学科 / 1年次)
- ★今まで英語学習を苦手だと思っていたのですが、少しだけ楽しいかも？って思えました。(経済学部・経済学科 / 2年次)
- ★中級、ゆくゆくは上級と受けてみたいです。(コンピュータ理工学部 / 1年次)

